

競技上の注意

- (1) 本大会は(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに基づいて行う。
- (2) マッチは7Gを原則とする。
- (3) 使用球は団体戦は、上位大会にならない、男女団体戦を(ダンロップ)、個人戦男子(ケンコー)、個人戦女子(アカエム)とする。
- (4) ベンチは若い番号が(観覧席)側を利用する。
- (5) ベンチ入りは、選手(団体8名以内・個人2名)と、監督(校長・教員・部活動指導員)または中体連の認めた外部指導者のいずれかとする。選手・監督・外部指導者の変更の場合は、各種「変更届」を各地区専門委員長に提出し、監督会議で承認を得ること。
- (6) 応援については、団体戦においては声や拍子をそろえた応援を認めるが、個人戦では認めない。相手に不快感を与えないように配慮する。
- (7) 団体戦について
 - (ア) 団体戦トーナメントにおいて、各学校初戦のみ第3マッチまで行う。それ以後は2-0で対戦を終了する。
 - (イ) 団体戦の審判は、相互審判を原則とし、上位の対戦を本部審判とする。
 - (ウ) 勝者が採点表(ジャッジペーパー)を本部へ届ける。
- (8) 個人戦について
 - (ア) 第1試合の審判のみ本部で以下のように割り当てる。
①() ②() ③() ④() ⑤() ⑥() ⑦() ⑧()
⑨() ⑩() ⑪() ⑫() ⑬() ⑭() ⑮() ⑯()
 - (イ) 第2試合以後の審判は、敗者審判を原則とし、上位の対戦を本部審判とする。
 - (ウ) 勝者が採点表(ジャッジペーパー)を本部へ届ける。
- (9) 服装・医療用具等について(監督・外部指導者もこれに準ずる。)
 - (ア) ソフトテニス用として公認された用具・ウエア・シューズを使用すること。
 - (イ) シャツは出さないこと。
 - (ウ) ゼッケンを必ず着用すること。
 - (エ) アンダーウエアやサポーター着用の場合は「医療用具使用届」を各地区専門委員長に提出すること。
- (10) 会場使用について
- (11) その他の確認事項
- (12) 参加校数・参加選手数

大会参加数	参加校数	参加選手数
男子	32校	180人
女子	30校	169人